

# 2020年12月期第3四半期 決算補足説明資料

---

株式会社アプリックス  
2020年11月12日

# 業績報告 (2020年度第3四半期)

## 20年12月期第3四半期 累計P/L（連結）



（単位：百万円）

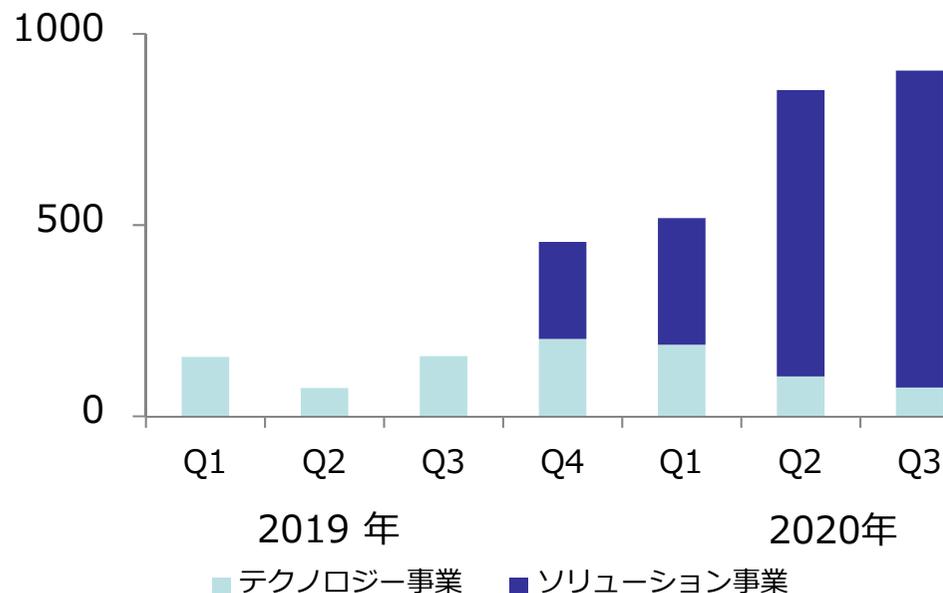
（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
19年12月期 Q3 累計実績(A)	386	▲194	▲196	▲224
20年12月期 Q3 累計実績(B)	2,278	30	20	23
増減額 (B-A)	+1,891	+225	+216	+247
増減率 (%)	+488.8	-	-	-

- 売上高が大幅に増加し、営業損益以下のすべての損益について黒字化。主な要因は、スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（SMC）の業績（2020年1月～9月）が連結数値に計上されたこと、SMCのMVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、3月より提供を開始したモバイルWiFiルーターサービス「THE WiFi」の販売が好調に推移したことによるもの。
- しかしながら、後述のとおり今後の見通しを踏まえて連結営業損益については通期業績予想を下方修正。（連結売上高については上方修正）

## 20年12月期第3四半期 売上高推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q3	Q3	
テクノロジー事業	157	75	▲52.0%
ソリューション事業	—	829	—%
(売上高合計)	157	905	+475.2%
受注高	410	581	+41.8%
受注残高	53	186	+247.8%

### ➤ テクノロジー事業

売上高の主な減少要因は、受託開発案件のうちいくつかの案件が長期化し、売上計上時期が来期に期ズレしたこと等によるもの。それに伴い、受注残高が前期と比べて大幅に増加。

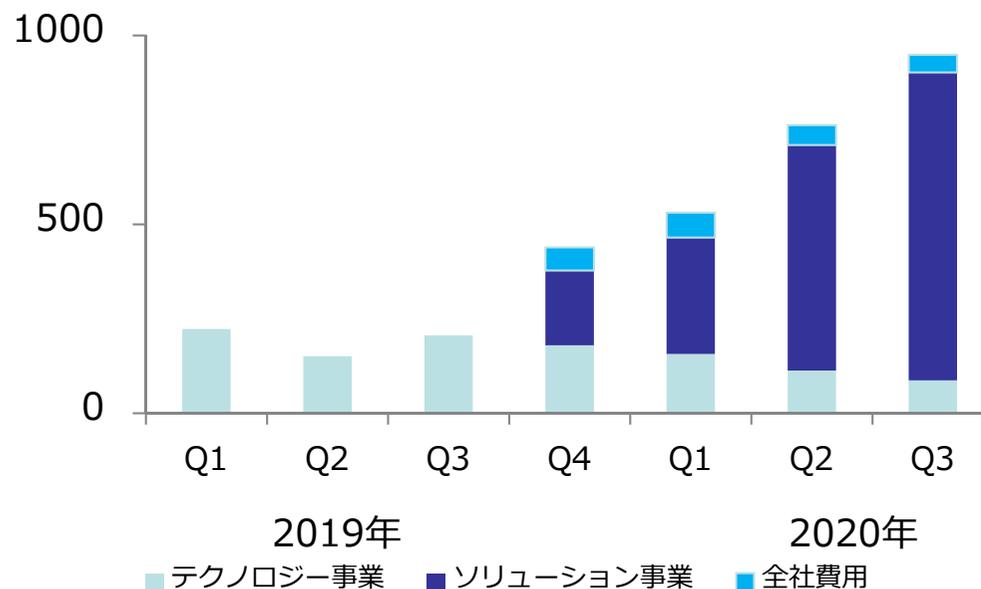
### ➤ ソリューション事業

SMCのMVNOブランド「スマモバ」で展開する格安ケータイや格安SIM、また「THE WiFi」などのモバイルWiFiルーターサービスの拡販に注力。

## 20年12月期第3四半期 営業費用推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q3	Q3	
テクノロジー事業	150	87	▲42.1%
ソリューション事業	—	815	—%
全社費用	55	47	▲13.9%
(営業費用合計)	206	950	+359.4%

- ソリューション事業の営業費用の主な内容は、SMCのMVNOブランド「スマモバ」における販促活動費用等。
- 前年同四半期と比較してテクノロジー事業と全社費用に係る営業費用が減少した主な理由は、継続的に行っている費用削減活動に加えて、当期より勤務形態をテレワーク制度に移行したことに伴い、人件費（残業手当等）、旅費交通費、会議費、光熱費、その他費用が全体的に減少したこと等によるもの。なお、SMCの本社をアプリックス本社に移転するなど中長期的なオフィス運営コストの削減も図る。

# 業績予想について

## 売上高の上方修正及び営業損益の下方修正について



<業績予想修正数値（連結）>

（単位：百万円）

	20年12月期 当初通期業績予想 (A)	20年12月期 修正通期業績予想 (B)	増減率 (B/A)
売上高	2,502	<b>3,056</b>	+22.1%
営業費用	2,452	<b>3,092</b>	+26.1%
営業利益	50	<b>▲36</b>	<b>▲171.2%</b>

### ➤ 売上高（上方修正）

ソリューション事業におけるSMCのMVNOブランド「スマモバ」とモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の堅調な販売に伴い、販売時に獲得する「イニシャル売上」、月額利用料等の積み上げである「ストック売上」がどちらも予算を上回る売上高を計上。

### ➤ 営業損益（下方修正）

上記の通りSMCの売上高が予算を上回るものの、「THE WiFi」の通信速度に対する状況を改善するため、設備増強やサポート体制の強化、顧客支援策等を講じたため営業費用も増加した結果、SMCにおける営業利益の増加額は67百万円に留まる。

下方修正の主な要因として、ソリューション事業における案件の立ち上げ遅れ。テクノロジー事業においては、2Q決算発表時の各決算資料に記載したいくつかの不確実要素が顕在化し、いくつかの受託開発案件について、プロジェクト期間の長期化による計上時期の期ずれや案件の縮小、来期へずれ込んだこと等に伴い当期中の収益認識が困難となり、営業損益は当初予算を大きく下回る見通し。

## SMC業績予想の修正について



(単位：百万円)

	20年12月期 当初通期業績予想 (A)	20年12月期 修正通期業績予想 (B)	増減率 (B/A)
売上高	1,479	2,362	+ 59.7%
営業利益	95	162	+ 70.5%

### ➤ 売上高（上方修正）

前ページに記載したとおり、「スマモバ」の格安ケータイや格安SIM、「THE WiFi」等のモバイルWiFiルーターから発生する月額利用料等のいわゆる「ストック収益」の積み上げや、昨年から進めている代理店を介した直販やブース販売等の既存販路からOEM販路への転換が効果を発揮したことにより、当初業績予想を上回る売上高を獲得できる見込み。

### ➤ 営業損益（上方修正）

上方修正の主な要因は、売上高の上方修正と同様の理由によるもの。

## <ご参考> のれん償却を考慮した実質営業利益



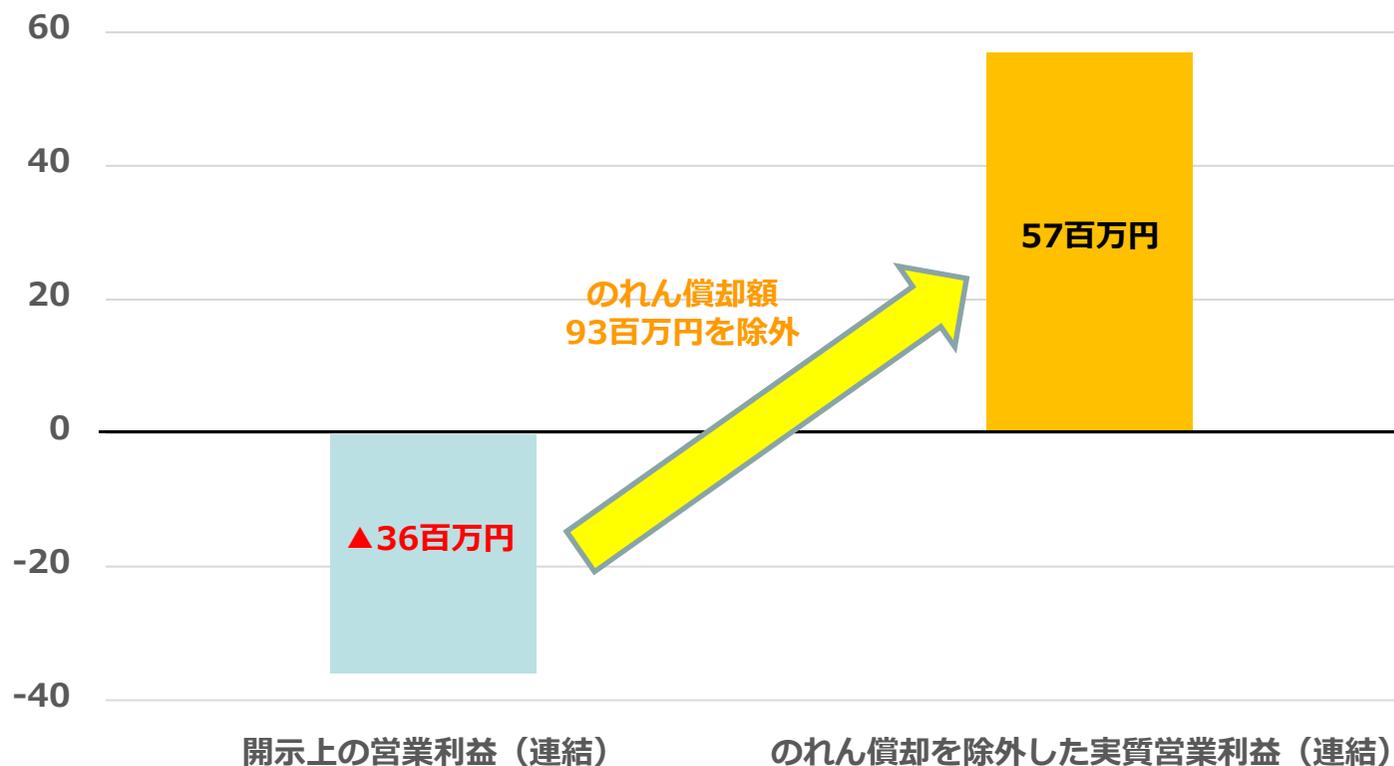
### のれん償却額について

2019年8月にSMCを取得した際にのれんが約7億3千万円発生。10年均等償却を行う。

なお、PPA（パーチェスプライスアロケーション：無形資産評価）を通じて約2億円を顧客関連資産（耐用年数6年）と認識したことから、今期約93百万円の償却額を販管費に計上予定（＝営業損益のマイナス）。

### 営業利益の比較（当期連結業績予想ベース）

（単位：百万円）



# トピックス（コーポレート関連）

### Bluetooth 5.0モジュールを搭載したロケーションビーコン 「MyBeacon®Pro 汎用型 MB004 BT-DR2」の提供開始

当社のロケーションビーコン「MyBeacon®シリーズ」について、Bluetooth 5.0モジュールを搭載した新たな機種「MB004 BT-DR2（以下「BT-DR2」）」を、2020年11月1日より提供を開始。

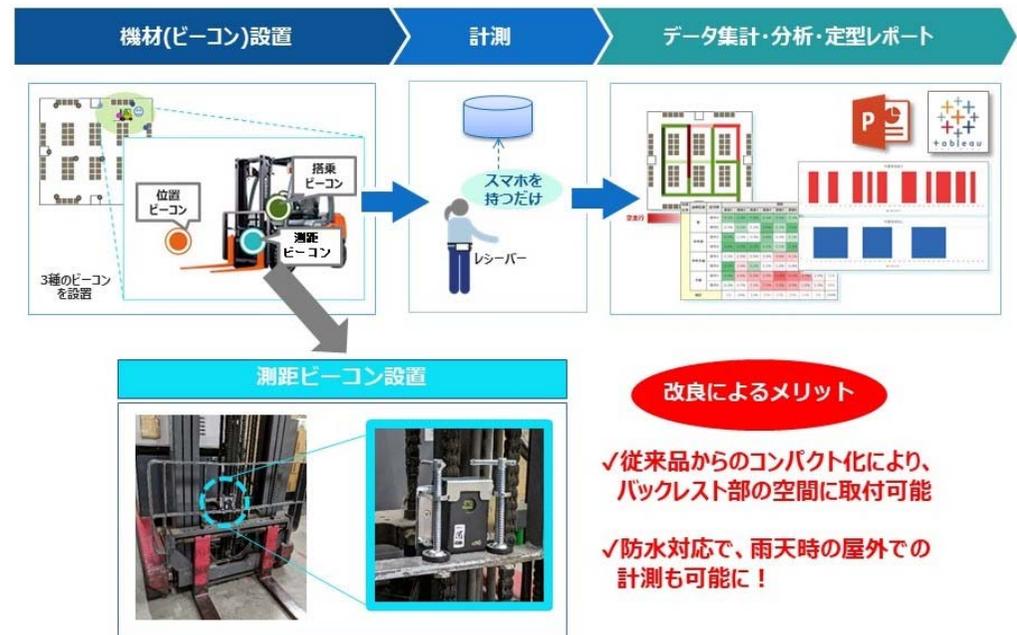
- ✓ BT-DR2は、従来品と比べて消費電力が約半分と省電力化を実現。これにより、Ac-DR2の簡便的に利用できるという特徴をそのままに、電池交換のタイミングを大幅に削減することができるため、ビーコン管理に要する工数を削減することが可能に。
- ✓ また当社が従来より提供するMyBeacon ToolやMyBeacon Portal、低電圧検知機能などすべての機能を利用できるようにプラットフォームを共通化することで、これまでMyBeaconシリーズを利用して構築したシステムやサービスに対して追加のシステム改修等を行わず、BT-DR2を追加して利用いただくことが可能となった。
- ✓ 新規のお客様に対してはBT-DR2の機能を体感していただけるよう、3種類のサンプルアプリの提供を予定。

## 日通総研の倉庫作業分析ツール「ろじたんフォーク」向け 積載センサー付きビーコンを日通総研と共同開発

株式会社日通総合研究所が提供する倉庫作業分析ツール「ろじたんフォーク」向けに、当社の新MyBeacon「MyBeacon@Pro 汎用型 MB004 BT-DR2」を使用した積載センサー付きビーコン（以下「測距ビーコン」）を日通総研と共同して開発し、2020年10月6日より提供を開始。

- ✓ 「ろじたんフォーク」は、倉庫内に位置ビーコン、フォークリフトに積載センサーと搭載ビーコンを設置し、そこから得られるデータを収集・分析することで、フォークリフトの適正台数を算出し、削減等の合理化検討に役立てることができるほか、フォークリストの稼働率や積載率（空走行の比率など）、作業導線などを把握し、業務改善につなげることができるサービス。
- ✓ 当社は、フォークリフトに搭載する積載センサーの機能をさらに進化させるべく、積載センサーとビーコンを一体化した測距ビーコンを日通総研と共同で開発。測距ビーコンは、フォークリフト上の積載有無に加えて、積載物との距離の測定、取得した情報の発信を行い、また、低消費電力化や従来品からのコンパクト化、防水対応を実現したことにより、従来の「ろじたんフォーク」の積載センサーでは取り付けできなかった場所にも取り付けが可能となった。

### ＜「ろじたんフォーク」 利用イメージと改良点＞



## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

2,443百万円 [2019年12月末現在]

## 売上高

843百万円（連結） [2019年12月期]

## 従業員数

44名（連結） [2020年9月末現在]

## マネジメント体制（2020年10月31日現在）

代表取締役社長	根本 忍
常務取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦

執行役員	鳥越 洋輔
------	-------

オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曾根 卓朗

## 事業内容

テクノロジー事業  
ソリューション事業

## グループ会社

株式会社BEAMO  
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社



株式会社アプリックス  
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。